

伊賀市の決算状況を報告します

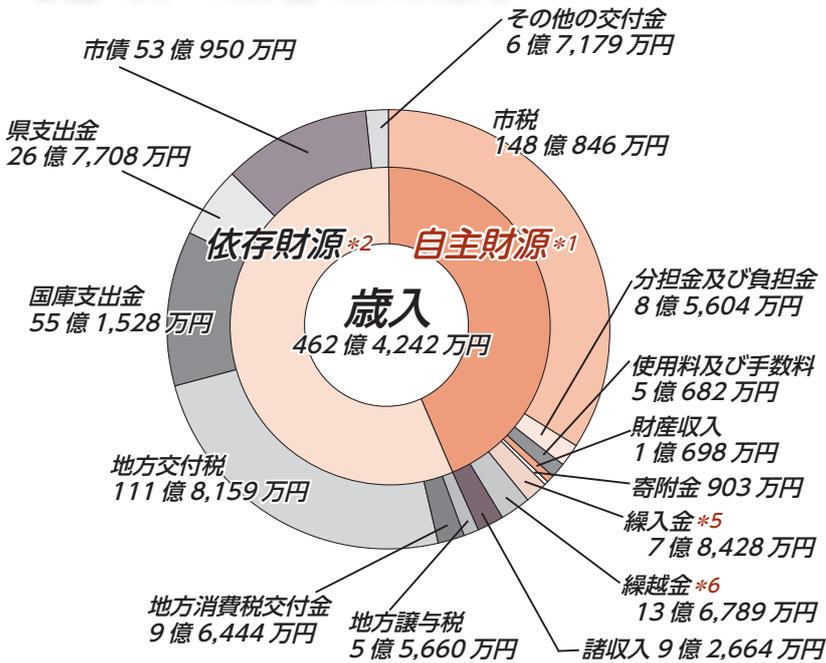
報告します

平成25年度の決算状況

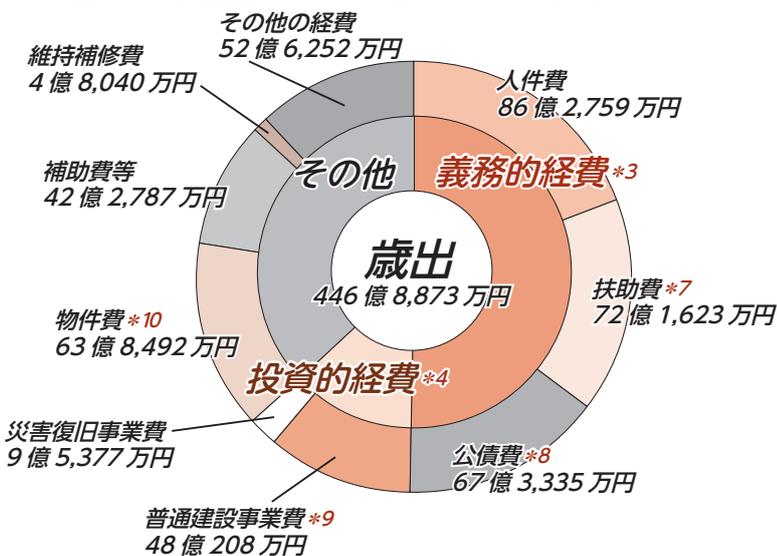
9月に行われた第5回伊賀市議会（定例会）で、平成25年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が認定されました。今回はその概要をお知らせします。
 ※表示単位未満を四捨五入していますので、決算書の金額（円単位）と一致していない場合があります。

■ 一般会計の決算状況

◆ 歳入 462億4,242万円

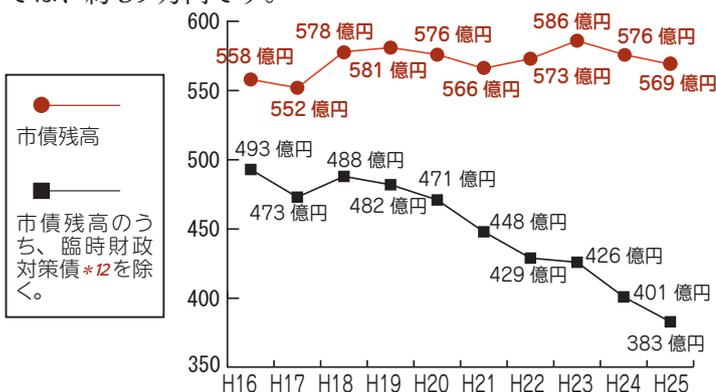


◆ 歳出 (性質別) 446億8,873万円



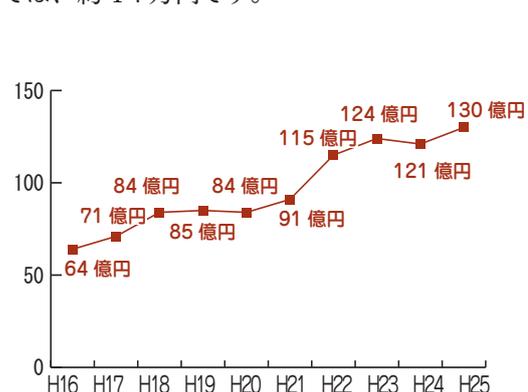
◆ 市債残高 569億円

市債^{*11}は、いわゆる市の借金です。市民一人あたりでは、約59万円です。



◆ 基金残高 130億円

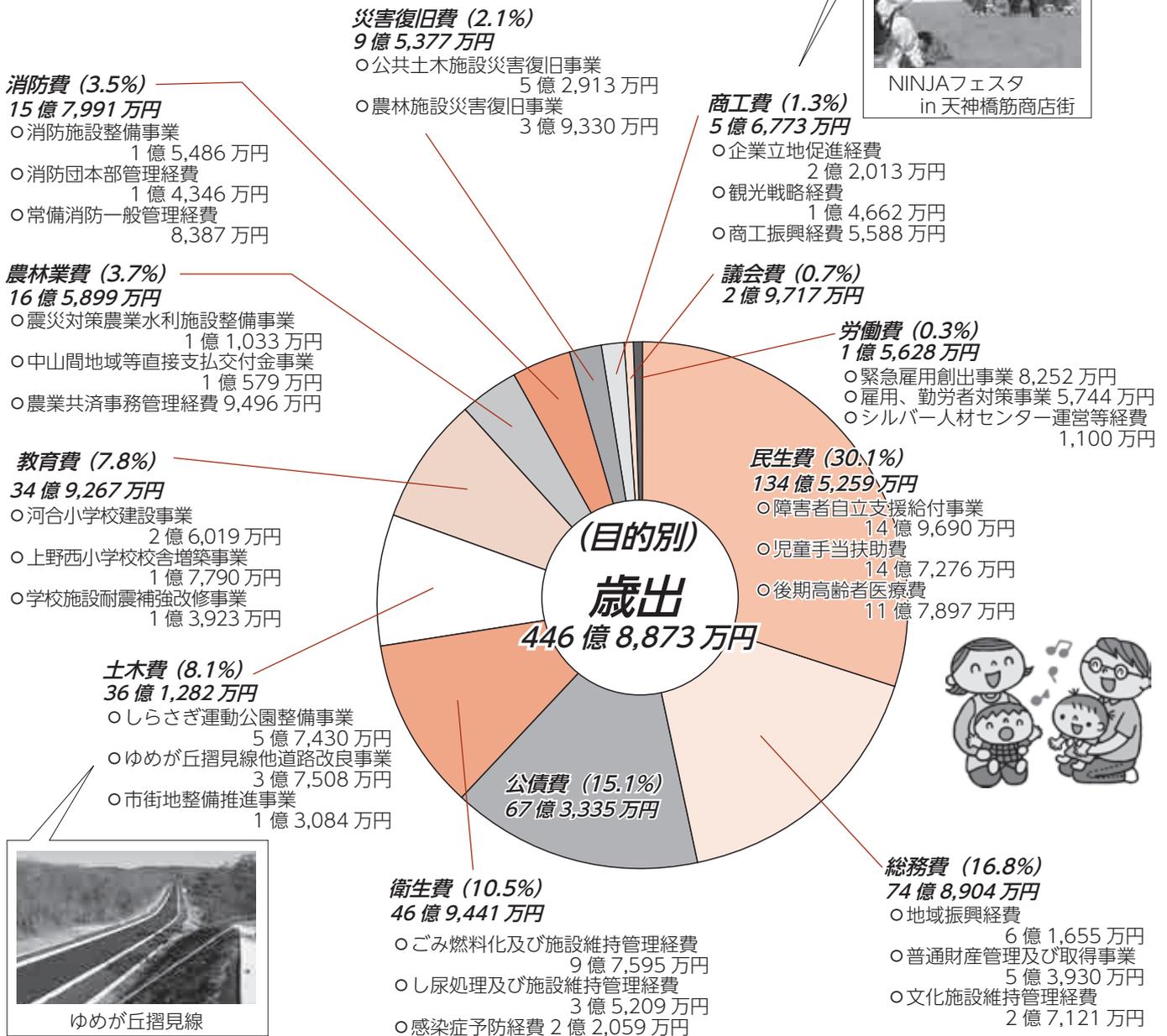
基金は簡単にいうと市の貯金です。市民一人あたりでは、約14万円です。



主な事業



NINJAフェスタ
in 天神橋筋商店街



ゆめが丘摺見線

財政のことは

- *1 **自主財源**：地方公共団体が自主的に収入できる財源
- *2 **依存財源**：国や県からの交付金など
- *3 **義務的経費**：人件費・扶助費・公債費など支出が法令で義務付けられている経費
- *4 **投資的経費**：その支出が資本形成に向けられるもの。家計でいう自動車や電化製品の購入など
- *5 **繰入金 (⇔繰出金)**：一般会計と特別会計、特別会計同士など一方の会計の収支不足を補てんするために他方の会計から充当されるお金
- *6 **繰越金**：決算の結果、前年から繰越しとなったお金
- *7 **扶助費**：児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などに対して、市が行う支援に要する経費
- *8 **公債費**：市債の元金と利子の返済金
- *9 **普通建設事業費**：道路、施設などを作ったり、施設を増築したりする経費
- *10 **物件費**：人件費や扶助費・補助費等・普通建設事業費などを除く経費の総称
- *11 **市債**：主に道路や建設事業などのための借金。これは公共施設は現在の市民だけでなく、将来にわたり多くの世代で利用するものなので、一度に税金でまかなうよりも、市債を借りて長期に渡り返済することで、世代間の公平性を図ろうという考えに基づいています。
- *12 **臨時財政対策債**：地方交付税の交付原資の不足に伴い、地方交付税に代わる地方一般財源として発行可能となった特例的な地方債

◆市有財産の状況

土地・建物	区分		土地	建物	主な施設
	行政財産	公用財産	84,937㎡	33,105㎡	庁舎・消防施設など
		公共用財産	3,666,371㎡	462,335㎡	学校・図書館・公営住宅・公園など
	普通財産		2,872,281㎡	34,612㎡	上記以外（山林など）
合計		6,623,589㎡	530,052㎡		

■特別会計の決算状況

市には、国民健康保険事業など10の特別会計と2つの財産区特別会計があります。特別会計全体の基金残高は約34億円で2億円の増、市債残高は181億円で4億円の増です。

会計名	収入額	支出額	差引額	基金	市債
国民健康保険事業	109億1,440万円	101億1,663万円	7億9,777万円	12億1,573万円	1,456万円
住宅新築資金等貸付	3,084万円	1億3,154万円	▲1億70万円	11万円	7,877万円
駐車場事業	3,781万円	3,771万円	10万円	—	—
介護保険事業	96億2,016万円	95億90万円	1億1,926万円	1億876万円	—
農業集落排水事業	26億8,139万円	25億5,873万円	1億2,266万円	9億1,272万円	107億6,230万円
公共下水道事業	8億2,533万円	7億9,370万円	3,163万円	9億2,461万円	71億278万円
浄化槽事業	2,307万円	2,155万円	152万円	4,518万円	1億1,297万円
サービスエリア	1,344万円	1,289万円	55万円	3,716万円	—
市街地再開発事業	2億9,625万円	2億9,625万円	—	—	—
後期高齢者医療	9億6,728万円	9億4,874万円	1,854万円	—	—
島ヶ原財産区	2,935万円	2,867万円	68万円	1億7,688万円	—
大山田財産区	5,033万円	4,899万円	134万円	5,678万円	—
合計	254億8,965万円	244億9,630万円	9億9,335万円	34億7,792万円	180億7,138万円

■財政の早期健全化・再生に関する指標

(財政健全化法に基づく指標)

平成20年に施行された法律によって、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生の必要性を判断するものとして、健全化判断比率を公表することが義務付けられています。

伊賀市の今年度の数値は、昨年度の数値よりも改善しており、すべての指標においても早期健全化基準・財政再生基準を下回りましたが、県内の市の中では下位のほうになっています。

	実質赤字比率*1	連結実質赤字比率*2	実質公債費比率*3	将来負担比率*4	資金不足比率*5 病院事業 水道事業
伊賀市 (昨年度数値)	—	—	14.2 (13.9)	105.3 (114.0)	—
早期健全化基準	11.88	16.88	25.0	350.0	経営健全化基準 20.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0		

※実質赤字額・連結実質赤字額がないため、また資金不足比率は算定されないため、「—」と表記しています。

※速報値

*1 実質赤字比率：普通会計（行政サービスを行う一般会計など）の歳出に対する歳入の不足額（赤字額）が標準財政規模*6に占める割合

*2 連結実質赤字比率：すべての会計の赤字額と黒字額を合わせて計算した赤字額が標準財政規模に占める割合

*3 実質公債費比率：標準財政規模に占める公債費（借

金返済額）の割合の3カ年平均値

*4 将来負担比率：将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

*5 資金不足比率：公営企業ごとの営業収益に対する手持ち資金の不足額の割合

*6 標準財政規模：地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模

【問い合わせ】 財政課 ☎ 22-9608 FAX 22-9694

水道事業

■事業概要

平成 25 年度の主な事業は、伊賀市水道広域化促進事業計画に基づき、上野丸之内、桐ヶ丘、市部・沖地内での配水管布設工事、朝古川浄水場系テレメータ等計装設備改良工事、阿保配水池緊急遮断弁設置工事などを実施しました。

給水区域内配水施設事業では、農業集落排水事業の進捗に合わせて市部、沖地内などで配水管布設替工事を実施しました。

■経営状況

平成 25 年度末における給水戸数は 38,759 戸、年間総配水量は 14,561,280^m、有収水量（水道料金徴収の対象となった水量）は 11,733,066^m、有収率（供給した配水量に対する有収水量の割合）は 80.58% でした。

経営面では、事業収益が 26 億 7,030 万円、事業費用は、25 億 4,879 万円で収益的収支 1 億 2,151 万円の純利益となり、平成 24 年度末処理欠損金 6 億 1,930 万円から減じ、平成 25 年度末未処理欠損金は 4 億 9,779 万円となりました。

今後もより一層の経営努力を行い、併せて安心安全な水道用水安定供給に努めます。

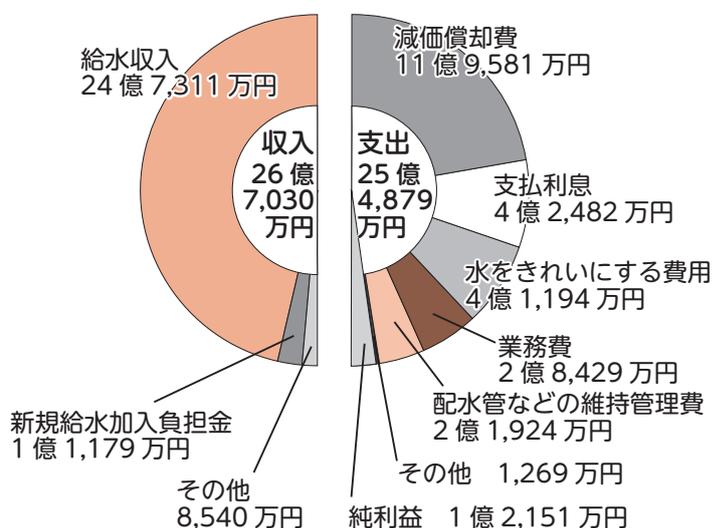
▼小田水源地



■平成 25 年度末の給水状況

現在給水戸数（戸）	38,759
現在給水人口（人）	95,207
配水能力（ ^m / 日）	52,489
年間総配水量 A（ ^m ）	14,561,280
1 日最大配水量（ ^m ）	45,083
1 日平均配水量（ ^m ）	39,894
1 人 1 日平均配水量（ℓ）	419
有収水量 B（ ^m ）	11,733,066
1 人 1 日平均有収水量（ℓ）	338
有収率 B / A（%）	80.58

■平成 25 年度の収入と支出（税抜き）



■市債残高

184 億 7,897 万円



■水道事業の決算（消費税・地方消費税を含む）

		予算額	決算額	繰越額	差引	
収益的収支	事業収益	27 億 8,581 万円	28 億 15 万円	—	増減額	1,434 万円
	事業費用	27 億 2,322 万円	26 億 4,685 万円	—	不用額	7,637 万円
資本的収支	収入	12 億 5,192 万円	12 億 4,133 万円	—	増減額	▲ 1,059 万円
	支出	24 億 3,143 万円	23 億 3,487 万円	9,212 万円	不用額	444 万円

【問い合わせ】 水道総務課 ☎ 24-0001 FAX 24-0006

病院事業

■事業概要

市民病院は三重県西部の基幹病院として、全人的医療を提供し広く市民に信頼される病院であることを基本理念とし、その役割を担ってきましたが、全国的な医師不足が続くなか大変厳しい経営状況が続いています。こうした状況の下、経営の建て直しをはかり、地域の中核病院としての使命達成と住民の健康保持を図るため、職員が一丸となって改革に取り組んでいます。

平成 25 年度は、老朽化した X 線装置を更新し、救急医療体制強化のため人工呼吸器やセントラルモニタ、ベッドサイドモニタを増設するなど医療機器の充実に努めました。また、災害拠点病院施設整備事業の採択を受け、ヘリポートの設置や自家発電設備工事、DMAT 資器材の購入などを 25 年から 26 年にかけて行うことで、施設環境の整備に努めています。

■各科利用状況 (単位：人)

	区 分	外 来		入 院	
		前年度比		前年度比	
上野総合市民病院	内 科	15,931	▲ 567	10,430	2,304
	循環器科	4,216	801	2,045	1,683
	小 児 科	30	▲ 4,511	0	0
	外 科	11,722	1,569	14,247	▲ 670
	整形外科	11,323	964	8,341	404
	脳神経外科	387	51	0	0
	もの忘れ外来	365	194	0	0
	神経内科	1,339	499	0	0
	婦 人 科	2,479	▲ 409	0	0
	眼 科	689	▲ 141	0	0
	耳鼻咽喉科	1,134	▲ 477	0	0
	皮 膚 科	964	▲ 6	0	0
	泌尿器科	3,222	▲ 782	546	546
	放射線科	2,110	▲ 178	0	0
合 計	55,911	▲ 2,993	35,609	4,267	
健診センター	一般健診	4,501	223	—	—
	人間ドック (一泊)	34	▲ 5	—	—
	人間ドック (日帰り)	1,119	247	—	—
	PET-CT健診	126	5	—	—
	PET-CT 保険適用	151	38	—	—
	合 計	5,931	508	—	—

■経営状況

病院の利用状況は、外来患者数が延べ 55,911 人 (1 日平均 229 人*)、入院患者数は延べ 35,609 人 (1 日平均 98 人) となりました。

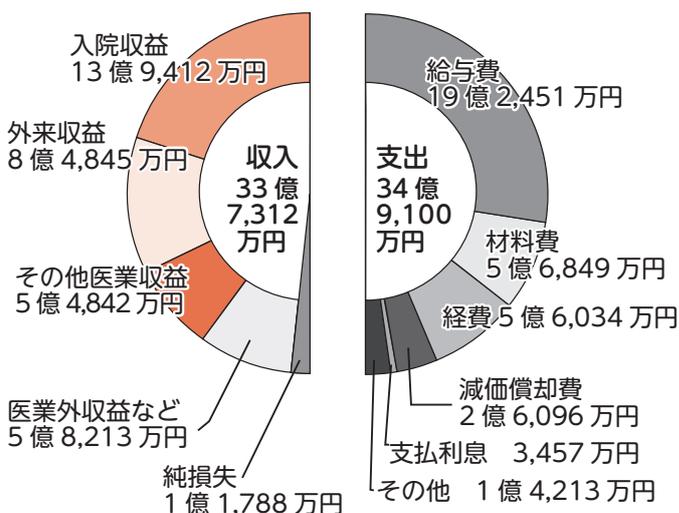
決算の状況は、事業収益 33 億 7,311 万円、事業費用 34 億 9,099 万円で 1 億 1,788 万円の純損失が生じ、平成 24 年度までの未処理欠損金 (累積赤字) 31 億 9,239 万円を合わせ平成 26 年 3 月 31 日の未処理欠損金が 33 億 1,027 万円となりました。

今後もより一層の経営効率化を進めるとともに、地域の皆さんから信頼される公立医療機関として、その役割を果たせるように努力していきます。

* 外来患者 1 日平均人数は、外来患者数を年間通常診療日数の 244 日で割っています。



■平成 25 年度の収入と支出 (税抜き)



■市債残高

17 億 8,652 万円

■病院事業の決算 (消費税・地方消費税を含む)

		予 算 額	決 算 額	繰 越 額	差 引	
収益的収支	事業収益	36 億 5,194 万円	33 億 8,339 万円	—	増減額	▲ 2 億 6,855 万円
	事業費用	36 億 5,186 万円	34 億 9,950 万円	—	不用額	▲ 1 億 5,236 万円
資本的収支	収 入	2 億 8,369 万円	2 億 1,155 万円	—	増減額	▲ 7,214 万円
	支 出	3 億 5,219 万円	2 億 8,353 万円	2,754 万円	不用額	▲ 4,112 万円

【問い合わせ】 上野総合市民病院経営企画課 ☎ 24-1111 FAX 24-1565

■一般会計の執行状況



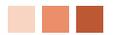
【歳入】

区分	予算現額	収入済額	収入率
市 税	141 億 9,925 万円	82 億 3,467 万円	58.0%
分担金及び負担金	8 億 6,662 万円	2 億 9,591 万円	34.1%
使用料及び手数料	5 億 1,066 万円	2 億 6,587 万円	52.1%
繰入金	5 億 8,989 万円	0 円	0.0%
繰越金	15 億 5,369 万円	15 億 5,370 万円	100.0%
諸収入	5 億 5,829 万円	1 億 6,616 万円	29.8%
財産収入	1 億 2,483 万円	9,573 万円	76.7%
寄附金	1,121 万円	196 万円	17.5%
地方譲与税	5 億 6,757 万円	1 億 5,250 万円	26.9%
地方消費税交付金	11 億 498 万円	6 億 3,530 万円	57.5%
地方交付税	108 億 4,185 万円	72 億 2,981 万円	66.7%
国庫支出金	53 億 7,746 万円	19 億 6,898 万円	36.6%
県支出金	30 億 1,560 万円	3 億 3,816 万円	11.2%
市 債	69 億 7,410 万円	0 円	0.0%
その他の交付金	4 億 5,895 万円	1 億 7,260 万円	37.6%
合 計	467 億 5,495 万円	211 億 1,135 万円	45.2%

【歳出】

区分	予算現額	支出済額	執行率
議会費	3 億 2,012 万円	1 億 6,544 万円	51.7%
総務費	62 億 8,028 万円	19 億 6,311 万円	31.3%
民生費	140 億 1,300 万円	52 億 1,230 万円	37.2%
衛生費	46 億 6,566 万円	16 億 7,177 万円	35.8%
労働費	2 億 3,173 万円	7,346 万円	31.7%
農林業費	19 億 14 万円	5 億 7,770 万円	30.4%
商工費	5 億 1,005 万円	3 億 960 万円	60.7%
土木費	39 億 6,750 万円	10 億 4,561 万円	26.4%
消防費	25 億 9,877 万円	7 億 3,644 万円	28.3%
教育費	40 億 3,685 万円	11 億 4,634 万円	28.4%
災害復旧費	15 億 4,294 万円	3 億 2,142 万円	20.8%
公債費	66 億 5,791 万円	33 億 1,324 万円	49.8%
予備費	3,000 万円	0 円	0.0%
合 計	467 億 5,495 万円	165 億 3,643 万円	35.4%

■特別会計の執行状況



会計名		予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
特別会計	国民健康保険事業	101 億 4,951 万円	46 億 7,798 万円	46.1%	46 億 4,586 万円	45.8%
	住宅新築資金等貸付	1 億 2,572 万円	1,303 万円	10.4%	1 億 1,287 万円	89.8%
	駐車場事業	3,903 万円	1,796 万円	46.0%	957 万円	24.5%
	介護保険事業	93 億 9,927 万円	41 億 4,915 万円	44.1%	41 億 604 万円	43.7%
	農業集落排水事業	17 億 6,209 万円	5 億 296 万円	28.5%	8 億 1,541 万円	46.3%
	公共下水道事業	8 億 4,137 万円	3 億 6,866 万円	43.8%	3 億 413 万円	36.1%
	浄化槽事業	2,258 万円	1,027 万円	45.5%	564 万円	25.0%
	サービスエリア	1,346 万円	639 万円	47.5%	295 万円	21.9%
	後期高齢者医療	10 億 8,443 万円	2 億 9,708 万円	27.4%	3 億 6,421 万円	33.6%
	財産区	島ヶ原財産区	2,787 万円	127 万円	4.6%	2,227 万円
大山田財産区		2,455 万円	1,361 万円	55.4%	86 万円	3.5%
合 計		234 億 8,988 万円	100 億 5,836 万円	42.8%	103 億 8,981 万円	44.2%

【問い合わせ】 財政課 ☎ 22-9608 FAX 22-9694

伊賀市の予算執行状況を報告します

－平成 26 年度上半期の財政状況－

市の財政状況を皆さんに知っていただくため、予算に対する歳入・歳出の執行状況などを報告します。平成 26 年度上半期（4～9 月）の予算執行状況（9 月 30 日現在）について、お知らせします。

※表示単位未満を四捨五入していますので、予算書の金額（千円単位）と一致していない場合があります。

■市税の状況(滞納繰越分を含む)



区分	予算現額	収入済額	収入率
市民税	57 億 2,932 万円	27 億 8,385 万円	48.6%
固定資産税	74 億 8,452 万円	48 億 8,604 万円	65.3%
都市計画税	7 万円	0 円	0.0%
軽自動車税	2 億 4,623 万円	2 億 3,693 万円	96.2%
市たばこ税	6 億 7,891 万円	2 億 9,692 万円	43.7%
鉱産税	5 万円	3 万円	60.0%
入湯税	6,015 万円	3,090 万円	51.4%

■市債・企業債残高



会計名	現在高
一般会計	540 億円
特別会計	177 億円
企業会計	196 億円
合 計	913 億円

■一時借入金はありません。

